

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成31年2月1日

事業所名：ゆうサポートセンターほっとそと 保護者数（児童数）25 回収数15 割合60%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	5	2	0	限られた場所で工夫されている。人数の割に狭い感じがします。	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	0	0	0		
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	8	3	0	困っている子がいるようには思いません。	ポットを操作する際に危険がないように踏み台を準備する。物の整理整頓を心がける。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	15	0	0	0		
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	5	0	0	ある程度固定化することで得られる安心もあるので	
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	4	8	0	自宅で…ということでもいいでしょうか？希望の利用日に通えているので、習い事や近所の子と外で遊ぶことができます。	習い事や地域の学校へ通う児童が利用していること、また、地域参加のための練習を普段の活動の中で行っているため、多くの機会は必要ないと判断しているが、冬休み等の長期休暇時に活動できるように計画する。
	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	0	0	0		
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	0	0	0		
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1	0	0		

保護者への説明等	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	9	5	0	ゆうに通う子の親同士の交流を目的にした会があってもいいかも。親同士が交流を図ることで、結果的にそれが子育ての助けになることがあるかもしれない。 私自身が参加していないため分かりません。	必要性について検討する。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	3	0	0	現在苦情はないので	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	0	0	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15	0	0	0		
	⑭	個人情報に十分に注意されているか	15	0	0	0	会報に小さくても写真が載る時は聞いてくれる。	
非常時の対応等	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。	9	3	3	0	書面ではあったような気がしますが覚えておりません。	保護者への周知のために手紙を配布する。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	7	2	0	子供から聞いていないためわかりません。	より定期的に行えるように年度始めに計画を立てる。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	12	1	1	0	無回答1 おかげさまで、ほっとできる場所であると感じています。 少し先の活動も掲示してくださるので、本人が見て楽しみにしています。	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	13	1	0	0	無回答1 大変助かっています。トラブル時における保護者への説明もはっきりわかり易いです。放課後遊ぶ友達がいないため、本人は楽しんでいると思います。	

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成31年2月1日

事業所名：ゆうサポートセンターほっとそっと

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		基本的な受け入れ人数を設定している	
	②	職員の配置数は適切であるか		○		1対1の対応が必要とされる場合がある。他事業所から人員配置をしている。必ず各部屋1人スタッフがいるように声をかけあっている。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○		ポットを操作する際に危険がないように踏み台を準備する。物の整理整頓を心がける。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・支援後、毎日カンファレンスを行い、様子の共有や支援方法の見直しを行っている。 ・個別支援計画作成時には全スタッフで話し合いを行っている	
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		検討する
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人として、研修の機会がある。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			見学時に子どもの様子を観察、また、保護者からの聞き取りを行い、課題やニーズを把握している。また、日々の記録を行い、現状の課題について細かく把握、スタッフ全員で共有を行っている。半年に1回は保護者との面談を実施し、家や学校での様子やニーズを把握するように努めている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		見学時のアセスメントシート、困り解消シートを利用している。	日常の記録のアセスメントツールについて検討する。

適切な支援の提供

⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		毎月チームで話し合い、何を行うのが決定している。また、決定後は、担当を割り振り、どのような目的で行うのか、それを達成するための事前準備や関わり方の工夫などを事前に考え、全体で共有、不足部分は事前のミーティングで話し合っている。	
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○	毎月チームで話し合い、季節ごとのイベントを取り入れられるように話し合っている。	
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日の支援前にミーティングを行い、活動の目的、流れ、事前準備、関わり方の工夫、役割分担について共有、話し合っている。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援後、打合せを行い、気付いたことや次回への変更点や注意事項を話し合い、記録用紙に記載、次回必ず確認し実施するように努めている。	
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○	行動記録用紙を使用している。うまくいかないことはその場で話し合い次回どう関わるかを決定している。	客観的な記録をとれるように、具体的なエピソードを書くことをスタッフ間で共有する
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	該当事例なし	

関係機関 や保護者との 連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	保護者からの聞き取りを行っている。	
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	該当事例なし	
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			地域のイベントへの任意の参加機会がある。地域の施設に活動に出かけている。	
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	市内の放課後等デイサービス連絡会から、いくつかの事業所が参加。意見を集約して伝え、共有している。	
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			○	保護者には日々共有を図っているが、共通の理解が完全にできているわけではない。	
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	関わり方のコツは送迎時にお伝えしている。ペアトレについては、法人としては行っており、必要に応じて情報提供している。	
保護者への 説明責任 問う	㉗	運営規定、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	○				
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの希望に応じて、悩み等をお聞きする時間を設け、対応を伝えている。	
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		必要性について検討する。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整えるとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	㉜	個人情報に十分対応しているか			○	写真掲載は必ず保護者に確認している	事業所内掲示物の見直し
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				

	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	マニュアルの作成はしている。	周知のために手紙を配布する。職員への研修計画を事前に作成する。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	○			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		事業所としては研修を行っていないが、法人として研修の機会がある。	年に1回研修の機会を作る
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	保護者への聞き取りで把握している	指示書の有無についての確認をアセスメントシートに組み込む。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			